

# 食中毒は一年中発生します！

## 食中毒発生状況

昨年度の食中毒患者数がどのくらいかご存じでしょうか。わかっているだけで、全国で1万1,080人が食中毒に感染し、2人が死亡しています。また、福岡県の食中毒発生件数は全国で6番目に多く、九州内では一番多くなります。

## 令和3年度食中毒発生状況

(都道府県別件数)	
1位	北海道 (102件)
2位	東京都 (83件)
3位	神奈川県 (50件)
4位	愛知県 (39件)
5位	福島県 (35件)
6位	福岡県 (28件)

## 食中毒とは

食中毒は、細菌・ウイルス・寄生虫・化学物質・自然毒な

どが原因で起こり、感染してから症状がでるまでの期間やその症状もさまざまです。また食中毒といえば、気温が高い季節に多く発生するというイメージがあるかもしれませんが、気温が低い今の季節も食中毒は発生します。

## ノロウイルスに注意

今の時期に多いのはウイルス性の食中毒「ノロウイルス」です。ノロウイルスは、ほとんどが経口感染であり、食品や人を介して体内に入り感染します。例えば、ノロウイルスに汚染された二枚貝を生食や加熱不足で食べた場合の感染、ノロウイルスに感染した人からの飛沫や嘔吐物を処理することによる感染などが考えられます。主な症状として、吐き気、嘔吐、下痢、腹痛、発熱などがあります。昨年度の食中毒患者数の第1位

であり、感染力が強く、大規模な集団感染を引き起こします。

## 令和3年度食中毒発生状況

(患者数別)	
1位	ノロウイルス (ウイルス) …4,733人
2位	その他の病原大腸菌 (細菌) …2,258人
3位	ウエルシュ菌 (細菌) …1,916人

## ノロウイルスによる

## 食中毒予防ポイント

一般的にウイルスは熱に弱く、加熱処理をすることが、ウイルスの活性を失わせる有効な手段です。

## 【食品からの感染】

ノロウイルスの汚染の恐れのある二枚貝などの食品は、

中心部までしっかりと加熱しましょう。

## 【人からの感染】

ノロウイルスに感染した人の嘔吐物の処理は必ずマスク、手袋を着用し、衣服に付かないようにしましょう。

また、嘔吐物のふき取り後は、家庭用の次亜塩素酸ナトリウムを含む塩素系漂白剤で消毒するのが望ましいです。(町ホームページに消毒液の作り方のリンクを載せています)



▲詳しくは町ホームページ

感染が疑われた場合は、保健所やかかりつけの内科医にご相談ください。

現在、ノロウイルスに効果のある抗ウイルス剤はありません。特に、体力の弱い乳幼児、高齢者は脱水症状を起しやすいため、水分と栄養の

■問い合わせ先  
町福祉センター健康福祉課  
☎962-5151(直)

補給を充分に行いましょう。脱水症状がひどい場合には、病院で輸液を行うなどの治療が必要になります。また、下痢止め薬は、病気の回復を遅らせることがあるため使用しないことが望ましいです。

保育園や学校、高齢者施設などで感染が疑われる場合は、感染経路の特定や感染拡大を防ぐために、最寄りの保健所へ速やかにご相談ください。

■粕屋保健福祉事務所  
保健衛生係  
☎939-1744

